

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年8月1日

【評価実施概要】

事業所番号	1174800480
法人名	有限会社啓愛の里さくら
事業所名	グループホームさくら
所在地	〒368-0103 埼玉県秩父郡小鹿野町般若821 (電話) 0494-75-4370

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年6月18日

【情報提供票より】(平成20年5月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 13人, 非常勤 5人, 常勤換算 14.2人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 1階建て1階部分、2階建ての1階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000円 ~ 55,000円	その他の経費(月額)	15,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (300,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成20年5月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名		
要介護3	10 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.6 歳	最低	65 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小鹿野中央病院、横田クリニック、浅海医院、皆野病院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、秩父札所めぐりの1つである法性寺の近くに位置し、西武秩父駅よりタクシーで15分の場所にある。ホームは山々に囲まれており小川のせせらぎが聞こえ、のどかな風景が広がる環境の中、家庭的な雰囲気があるホームである。建物は、大きな梁がある昔ながらの本家と、新しく新築した新宅との2ユニットであり、利用者は大変生き生きとした日々を送っている。また、デイサービスが併設されているため、合同での行事もあり、生活の中に楽しみを持って過ごすことができるように配慮されたホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価で指摘された各居室前に飾られたのれんは、棒を使用して設置するように工夫することで、より安全に過ごすことができるように改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は評価の意義を理解した上で改善への取り組みを行うとともに、ミーティング時等に自己評価の各項目について職員間で話し合いながら取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に運営推進会議を実施している。会議では、利用者の家族、市の担当職員、民生委員等の参加を得ながら、自己評価や外部評価を報告・説明をしている。また、話し合いながら意見を出すことで職員全員が共有し、改善に組みながらサービスの質の向上につなげている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族が意見等を表出できるように意見箱を置くなど工夫している。また、窓口も設けるなど、常時意見や要望を受け付けるとともに、運営推進会議においても、家族が出席することで意見を述べる事が出来るような仕組みづくりをしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームは誰でも気軽に訪れることができる雰囲気であり、散歩や買い物に出掛けるなど地域の方と交流を持つことで溶け込み、相談事があれば応じるなど、アドバイスのな役割も担っている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者、家族、職員、そして地域の方に常に感謝の気持ちをもって暮らし続けることを大切に、やさしい「心」をもって接することを念頭に、地域の中に密着したサービスを心がけた理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念をカードサイズにして携帯し、ミーティング等において職員は日々確認し、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小鹿野町の小・中学校の運動会や地域の祭りに参加している。また、介護福祉士の養成を目的とした高等学校からの実習生の受け入れ等を行うことで交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員は評価の意義を理解しており、前回の外部評価であげられた改善項目への取り組みを行っている。また、今回の自己評価については、ミーティング等を利用して、各項目ごとに職員間で話し合いながら取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、運営推進会議を開催している。会議には利用者の家族、市の担当職員、民生委員等が参加し、外部評価等の報告について話し合いながら意見を出し、職員と管理者はともに共有することで、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は常に市町村と相談・話し合いを行っており、アドバイスをもらうことでサービスの向上に取り組んでいる。また、運営推進会議には、地域の学校(小・中・高)の各教頭先生、警察も参加し、生活の安全が地域の見守りの中で保たれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、ホームだより「さくら」等で利用者の様子などを定期的に報告している。また、個々に合わせて電話連絡の対応をしており、記録の開示もしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置するするとともに、窓口を設けている。また、運営推進会議においても、家族が出席し意見を述べる事が出来るように仕組みづくりがなされている。		意見を表出する機会は設けてあるため、改善状況を明確に把握するためにも文章として記録に残すなどして、ホームの運営に反映されることを期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の異動はあるが、ユニットおよび職員間の交流を大切にしている。普段から職員が2つのユニットを行き来できる状態にすることで、利用者との馴染みの関係が築かれ、利用者へのダメージに配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内での研修を実施するとともに、秩父市、小鹿野町での研修等に参加している。		研修の年間計画を作成するなど工夫して、全職員に対して研修をする機会を確保できるような取り組みを期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協議会に参加している。職員から取り組む案を出すことで前向きに交流するようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービスを開始する前に、見学や体験入所を実施することで、ホームの雰囲気に徐々に馴染めるよう、段階的な支援の工夫をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活の中で、職員は利用者から野菜作り等を学ぶこともある。日々の関わりの中で一方的な関係になるのではなく、一つの作業を一緒に行うことで支え合う関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に生活歴等から思いや意向を把握し、職員は本人からの要望に対応するように努めている。</p>		<p>入居後、日々のふれあいの中で、本人の思いや意向の把握に努め、また、把握が困難な場合には思いの汲み取り方など工夫されることを期待したい。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時に生活歴等を検討して利用者や家族の意向にそって介護計画を作成しているが、入居後の思いの反映は充分ではない。家族には作成後に報告している。</p>		<p>入居後、本人から思いや意向を聞くとともに、本人や家族と話し合いを重ねながら意見を反映した介護計画を作成することを期待したい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6か月に1度見直しを行っている。また、3か月に1回はモニタリングをしており、利用者に変化が生じた場合は迅速に対応し、現状に即した介護計画を新たに作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院への介助など利用者の状況に応じて要望に沿うように対応している。また、併設されているデイサービスの方との交流も支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望に応じて入居前のかかりつけ医に受診することが出来る。また、休日も対応可能な医師、看護師との連携を築きながら支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状況を家族の方へ伝え、話し合い、柔軟な対応に心掛けている。説明はしているが、まだ前例はない。		重度化や終末期を迎えたときに適切な対応を行えるように、本人、家族、関係者等での話し合いを継続し、方針の統一を図って共有していくことを期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	ホーム内での研修やミーティングにおいて、職員の対応についてお互い確認し合っている。また、記録、個人情報においても取り扱いに注意をしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合に合わせるのではなく、利用者本位の支援となるように努めている。実際に生活の中で行うことについては本人にも納得してもらうために説明し、同意を得た上で支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は職員と一緒に食事作りから片付けまで行っている。食事の一連の作業を共同で行うとともに、利用者が食べたい物を言いやすい雰囲気作りに努め、楽しい食事になるように心掛けている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は月・水・金が入浴日になっているが、入浴のほか、シャワー浴や清拭なども実施し、利用者個々に合わせた支援を行って、入浴を楽しめるように取り組んでいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活を送る上で、一人ひとりの趣味や力を活かしながら、楽しみごとや日常的な役割を持って過ごせるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の希望がある時は、利用者の希望に沿うように支援し、散歩や買い物は日常的に行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアを実践している。夕方からは施錠しているが、常に利用者に閉塞感を与えないように取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中の避難訓練を定期的の実施し、地域の警察、消防に働きかけてる。環境的に地域の協力を得ることは難しいが、近隣の方には声かけをしているため、働きかけをすれば協力が可能と思われる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、栄養バランスのチェックを行い、水分についても必要摂取量を確保できるように支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は家庭的な雰囲気の中で生活している。また、テーブルの飾り物をはじめ季節感を採り入れるなど、居心地よく過ごせるように工夫している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人が入居前に使用していた馴染みの家具などを持ち込んだり、好みのもを配置することで、居心地よく過ごせるように居室作りをしている。		